

特集 子どもの栄養ケアを見直す一分野の垣根を越えて

序文—乳児・小児栄養における国内外の

課題……………東海林宏道

総論

ライフコースを見据えた小児の栄養

課題と対策……………石川みどり

腸内細菌叢を指標とした小児の栄養と健康

……………赤川翔平

小児栄養サポートチーム活動の今後……………高増哲也

小児にサプリメントは有用か……………佐藤陽子

DOHaD 学説と妊娠前から産後の栄養

—葉酸・one carbon metabolism (OCM) を

中心に……………金高有里

各論

地域や家庭の対応

母乳育児で不足する栄養素とその補充

—ビタミン K, ビタミン D, 鉄, 亜鉛

……………加藤育子

「離乳食を食べない」という悩みにどう

応えるか—Responsive Feeding に

基づいた食行動の支援……………江田明日香

子どもの栄養を見直そう……………鈴木志保子

災害時における小児の栄養—JDA-DAT の

取り組みと赤ちゃん防災プロジェクト

などについて……………下浦佳之

ビーガン, 糖質制限食, グルテン

フリー食の問題点……………伊藤明子

疾患別の対応

新生児 (静脈栄養, n-3 系 PUFA 含有

脂肪乳剤, EHMD)……………中野有也

完全除去を回避した食物アレルギー小児管理

—食物経口負荷試験と早期導入製品を活用

した微量定期摂取による経口免疫誘導

……………山本貴和子

先天代謝異常症 (特殊ミルクを含めて)

……………伊藤哲哉

炎症性腸疾患……………岩間達

肝・胆道・膵疾患……………恵谷ゆり

てんかん……………今井克美

子どもの摂食症 (摂食障害)……………作田亮一

自閉スペクトラムの偏食と対応……………田上幸治

鉄欠乏性貧血 (幼児期から思春期まで)

—成長段階と生活背景をふまえた

栄養ケア……………早川潤

肥満・2 型糖尿病……………野井香梨

慢性腎臓病……………濱谷亮子

小児周術期栄養管理の現代的戦略—生理学的

根拠に基づく集学的アプローチ……………三宅優一郎

重症心身障害児の対応

重症心身障害児の栄養アセスメント……………前川貴伸

栄養投与経路の選択……………杉山彰英

栄養の内容と形態……………水谷亮

【コラム】アミノ酸の“かたち”から考える

小児の栄養と発達……………松田明奈

【コラム】VR を利用した栄養治療指導……………佐伯勇

「小児内科」特集案内

定価

第 57 巻 第 5 号	(2025 年 5 月)	いま話題の 5 歳児健康診査を詳しく学ぶ	(3,190 円)
第 6 号	(2025 年 6 月)	小児科医が知っておきたい産科の基礎知識	(3,190 円)
第 7 号	(2025 年 7 月)	入門! アタッチメントと小児期逆境体験を知る	(3,190 円)
第 8 号	(2025 年 8 月)	常在微生物叢と小児疾患—腸内細菌叢の先にあるもの—	(3,190 円)
第 9 号	(2025 年 9 月)	On-the-Job Training のコツ—後輩にどう教える?	(3,190 円)
増刊号	(2025 年 9 月)	症例から学ぶ! 小児臨床超音波	(11,000 円)
第 10 号	(2025 年 10 月)	小児科医が知っておきたいリウマチ・膠原病の知識と実践	(3,190 円)
第 11 号	(2025 年 11 月)	小児がん診療の新展開	(3,190 円)
第 12 号	(2025 年 12 月)	小児科医が診る神経発達症: 小児科臨床と発達支援のクロスオーバー	(3,190 円)
第 58 巻 第 1 号	(2026 年 1 月)	未来を育む: 青少年を支えるスポーツ医学	(3,190 円)
第 2 号	(2026 年 2 月)	学んでおきたい遺伝学的検査と遺伝カウンセリング	(3,190 円)
第 3 号	(2026 年 3 月)	AI とともに育つ医療—小児医療の新しいかたち	(3,190 円)
第 4 号	(2026 年 4 月)	小児神経学入門—小児科医必須の神経症候学と治療論 (増大号)	(6,600 円)

上記のご注文ならびに在庫照会は下記までご連絡下さい。価格は消費税 10% を含みます。

東京医学社(営業部) 〒112-0006 東京都文京区小日向 4-5-16

TEL 03-5810-1628 FAX 03-5810-1629 E-mail: hanbai@tokyo-igakusha.co.jp